

委員会評価報告書

事業名	市道維持管理事業	
委員会評価	2	現状のまま継続する。
【評価説明】 <p>市道維持管理事業は市の責務であり、限られた予算の中で早期対応に努めておりますが、平成27年度の要望件数は291件と要望が非常に多く多様化し、対応に苦慮しており、要望箇所の地域性や危険性等を考慮し、優先度を決め実施している状況であります。</p> <p>産業建設常任委員会では、必要性、妥当性、効率性、達成度、緊急性の観点から評価した結果、現状のまま継続していくことと判断しました。</p> <p>まず、最も身近な生活道路である市道を市民が安心して通行できるよう維持していく上では、必要性が高い事業であると判断しました。</p> <p>市道などのインフラは市独自で管理するのが妥当であると考えますが、今後の財政を考慮しますと、予算が拡大する中では地域と市が共同で対応していくことや、一定の地域の路線を地元業者に委託するなど、さらなる民間活力を活用した事業展開など検討していくことも必要と考えます。</p> <p>また、優先度を決め事業実施しており、効率的に実施していると判断しました。防草や支障木対策などは実施するほど効果に期待はありますが、除草などは毎年の課題であるといえます。</p> <p>さらに、住民の要望のある事業であり、地元の満足度は高く、事業の達成度は高いといえます。</p> <p>また、維持補修を行うことは、緊急時に備え、常に安全な状態に維持していくことが望まれることを考えますと、緊急性も高いといえます。</p> <p>現状のまま継続することが望ましいですが、生活インフラにおいて危険箇所等の対応は早急に必要であり、整備を行うことは地域の発展にもつながるものであるといえます。現在も地域の申し出に一定の対応ができており、適正に維持管理はできていると評価できますが、今後、コスト面や事業の手法については検討の余地があるのではないかと考えます。</p> <p>広大な市道の維持管理は市の責務であり、市民の生活を守る道路として、常に良好に保つことが求められます。限られた予算の中で、一般財源に頼る事業だけに、より効果的に事業展開していくことが必要であります。無駄な経費は省くべきであります。市内業者などへ発注や委託などされ、結果として地域</p>		

経済の下支えになっていることを考えますと、対応範囲が拡大せざるを得ない場合は、地域経済に還流する流れも考えるべきであり、新しい手法の確立も考慮していくことも必要であります。また、市としても要望による対応だけではなく、今後の計画的なプランを示すことも必要ではないかと考えますし、今後、高齢化により、草刈りができなくなってくる地域の増加や支障木への対策について、検討していくことが必要になってくると考えられます。